

事故事例－3： 駐車場出入り口で自動降下するシャッターと車の接触事故（Part 1）

なぜ事故が起こったのか

マンションにお住まいのお友達のところに遊びに来られた方が、マンション駐車場出入り口に設置されているシャッターの下に車を停止し、荷物を積んでいた際、シャッターが自動で降下してきたことで、車の屋根部と接触し、傷つけてしまった。

シャッターは、開動作した場合、上限で停止後、約30秒後に自動降下する仕様であった。
なお、シャッターの両側には、障害物を感知するセンサが付いていたが、転倒した子供を感知することを目的とした高さに設置されていたので、車を認識できなかった。



事故にあわないためには

シャッターの降下ラインには、車を駐停車させないでください。
予期せぬときにシャッターが動き出し、大変危険です。

事故を起こさないためには

マンション住人の方には、改めて、“シャッターが全開した後、一定時間後に自動で閉まる製品であること”のご説明をお願いします。
また、シャッターの前後1mに“駐停車禁止範囲”を設けていただくなどの対策も有効です。

更なる安全のために

障害物を感知するセンサは設置されていますが、より安全にご使用いただくために、別途センサの追加を推奨します。シャッターのご使用状況に合わせ、ご提案させていただきますので、シャッターメーカーにお問い合わせください。